

農業振興の方向性は

貝田 晴義 議員

答 減反廃止等含む情報収集に努め適切に対応したい

問 T P P 大筋合意に対しての見解は。

農政課長 平成28年秋の国の具体策表示まで情報収集に努め、乗り遅れないよう適切に対応したい。

「減反廃止」に関する市の対応は

問 30年度から行政による減反は廃止となる。用途別米と大豆や野菜等の適正な組み合わせを維持すべきと思うが、対応は農政課長 民間のJAに



“T P P”でどうなる筑後の農業

その役割が移行するが、関係機関と従前どおり連携し、市水田農業推進協議会で農家所得維持を目的に協議していく。

農業法人構成員の高齢化対策は

問 筑後市は農業の法人化等については県のトップに位置するが、担い手は高齢化の現実がある。企業参入や農家起業について今後の考え方は。

農政課長 法人に施設園

芸を導入し、通年雇用体制を目指したい。また企業参入や起業を含め、複合的に進める必要がある。

問 市の基幹産業たる農業への国のT P P対策や減反廃止対策が不十分な場合、市費の投入についての見解は。

市長 農業が今後も市の基幹産業であることは十分に認識しているが、市民の税金を使うことなので慎重に検討する。

子どもの学習支援への考えは

馬場 政英 議員

答 事業の実施に向けて検討中

問 本年度から生活困窮者自立支援制度が始まった。任意事業となっていく子どもの学習支援事業について市の考えは。

福祉課長 貧困の連鎖を防止する目的で、困窮している子どもたちへの学習支援は重要であると判断している。

問 学習支援の方法と時期はどう考えているか。

福祉課長 実施方法は、公民館等に集まって行う集合形式と自宅への訪問形式がある。運営については、市直営と外部委託がある。継続して運営できるようにニーズを探りたい。来年度からの実施

は難しく、それ以降になる。

サンコアに子どもの学習室の確保を

問 市立図書館には学習室などがなく、サンコアのロビーで勉強している生徒が多く見られるが、市はどう考えているか。

市長 夏休みはサンコアの講習室の一部を学習室として確保している。

問 現実的対応として、2階ロビーも照明を明るくして机イスを置いて常時提供できないか。

中央公民館事務長 2階ロビーの使用については検討する。当面の対応として冬休みの学習室の提供を検討する。



サンコアロビーで学習する生徒たち